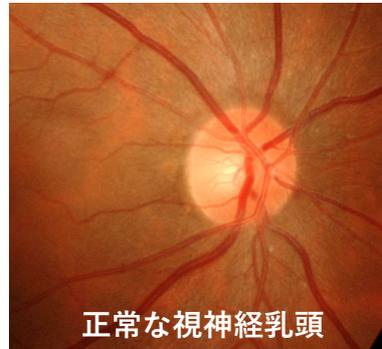


健康診断で「緑内障の疑い」といわれたら

緑内障になると、**眼底に特有の所見**が現れます。

- ① 視神経乳頭陥凹の拡大
- ② 視神経線維束の欠損
- ③ 視神経乳頭の出血
- ④ 視神経の萎縮

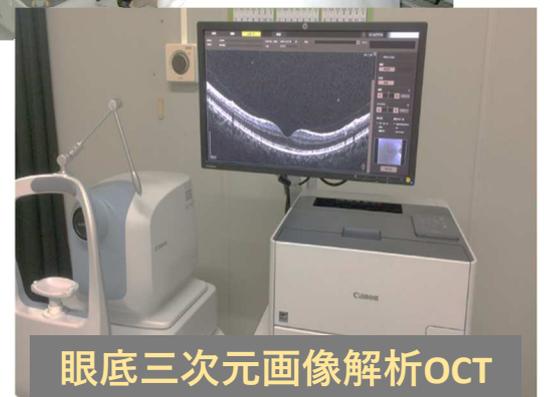
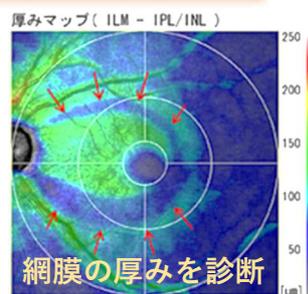
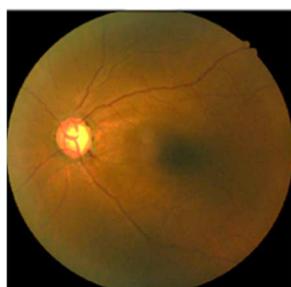


これらの所見がみられたら「緑内障の疑い」と言われます。また眼圧測定で、数値が高くである場合も「緑内障の疑い」と言われます。

緑内障であるかどうかは、さらに詳しい検査をしてみないとわかりません

詳しい検査には

- ・ 矯正視力 眼圧
- ・ 眼底検査(眼底写真撮影)
- ・ 視野検査
- ・ 眼底三次元画像解析 (光干渉断層 = OCT)
- ・ 隅角検査 などがあります。



緑内障のなりはじめは、**自覚症状**がほとんどありません。また、障害を受けた視野や視力は、元には戻りません。ですから、**早期の発見と治療**が大切になります。

「なんでもないから大丈夫」と自己判断せずに、必ず眼科を受診して、適切な指導を受けるようにしましょう。